

日本で一番遅い山開き

羅臼岳山開き

7月7日(日), 斜里町岩尾別の羅臼岳登山口で羅臼岳山開き安全祈願祭が行われました。午前6時の開始時刻には濃い霧が祠(ほこら)の周りに立ちこめ、クマゲラの鳴き声やドラミングの音が深い森に響く中、地元関係者や登山客から十数名が祠の前に参集し、今年の無事故を祈願しました。

日本一遅い山開きを終えた知床連山はこれから本格的な夏山シーズンを迎えます。今年は春が早かったこともあり、高山植物の開花も10日ほど早くなっています。

観光地美化キャンペーン

7月18日(木), 斜里町と日観協主催の観光地美化キャンペーンが実施されました。当センターからは2名が参加し、知床五湖の駐車場で観光客へゴミ袋等を配り、ゴミの持ち帰りを呼びかけました。

この催しは数年前から毎年この時期に行われていて、当センターは毎年参加しています。

今回は、少し曇っていましたが、知床観光の最盛期ということもあって、大勢の観光客にゴミの持ち帰りをよびかけることが出来ました。

よろしくお願ひします



8月1日付け人事異動により、知床森林センターに勤務させていただくことになりました西 純一郎です。当センターの一員になることが出来、大変光栄に思っております。北海道には平成12年4月に、林野庁から日高支庁管内の平取町に参りました。その後札幌市に移り、当地が北海道では3箇所目の勤務先となります。前任地では、北海道国有林のPRを行っていました。出身は熊本県人吉市です。自分ではおらかな性格と思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

知床の森から

平成14年8月発行 第79号



北海道森林管理局北見分局 知床森林センター
〒099-4113 北海道斜里郡斜里町本町11番地
電話 01522-3-3009 FAX 01522-3-3160
ホームページ <http://www.shiretoko.knc.ne.jp/>



知床は今

知床は、短い夏を迎え本格的な観光シーズンに入っています。

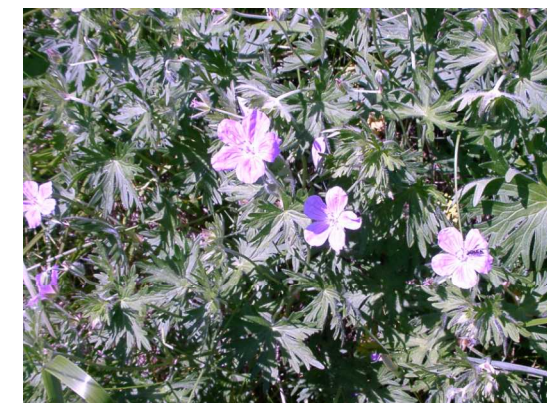
山々は、数々の木々や草花などの美しい若葉できらきら輝き、海岸の砂丘も、色鮮やかなハマナスやハマエンドウ等の花が咲き誇っています。

また、夏毛に衣替えしたエゾシカやキタキツネなども目にすることも多くなってきました。

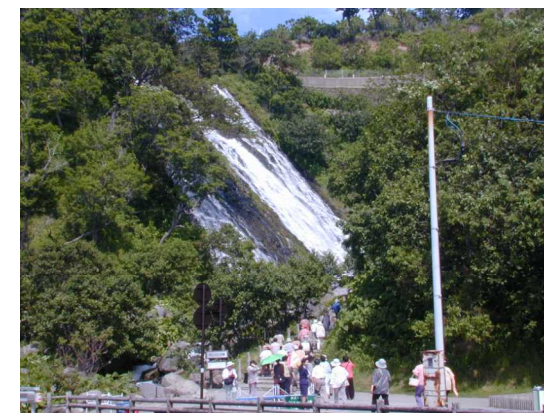
このような豊かな自然を求めて多くの観光客が知床を訪れます。



羅臼岳



エゾフウロ



オシンコシンの滝



ハマナス

第42回森とのふれあい

6月16日、第42回森とのふれあい「自然散策と炭焼き体験」を実施しました。

午前にはセンター裏手に設置してある簡易炭焼き窯を用いての炭焼き体験ということで原木を切って釜に詰め火を入れるところまでを行いました。

参加者は慣れない作業にとまどいつつも楽しそうに原木切りや窯への原木入れ等の作業をしていました。

また、中には、炭焼きの経験があるということで、窯の構造について熱心に質



火入れ作業



キツツキの巣穴を発見

問される方も居ました。

午後から、知床峠に向かう途中にある自然観察教育林にバスで向かい、春先の雪解け水がたまってできる、幻の沼と呼ばれる「ポンホロ沼」で自然観察を行いました。

身支度を整えた一行は、所々で倒木の役割や木の種の子孫を増やすための方策等の説明を受け、エゾシカの食害痕、熊の爪痕などを観察しポンホロ沼の周囲を一周しました。

今年は沼に水があり、新緑に包まれた美しい沼を眺め、しばし森林浴をしました。晴天であれば水面に映る羅臼岳は残念ながら雲に隠れ見ることはできませんでしたが、天候も良くコース約3kを歩き快い汗を流しイベントを終えました。

第43回森とのふれあい

7月28日、第43回森とのふれあい「夏休み木工体験」を当センターセミナー室に於いて23名の参加者で実施しました。

今回は木の枝や小石等を利用した昆虫等の制作、押し葉・押し花等利用したスタンドグラスの制作ということで、職員による注意事項等の説明の後、各参加者ともそれぞれ資料を見ながらおもい思いの材料を手に取り組みんでいました。

中には初めて使う鋸にとまどう子や、職員の手伝いをいやがる子もいましたが、みんな楽しそうに工作していました。

でも、よく見てみると一番夢中になっていたのは同伴で参加していたのお母さん達だったかも知れません(^_^;)

各参加者とも予定時間を有効に使って工作を楽しみ、作った物を持ち帰ってもらったところで、今回のイベントを終了しました。

